

帝キネマ屋時代映畫

脚色者 小國 ひさし氏
監督者 唐澤 弘光氏
撮影者 高橋 武利氏



主要役割

伊達新三	市川百々之助氏
幡隨院長兵衛	片岡 童十郎氏
中野甚左衛門	東 良之助氏
浅間源太	中村 翫曉氏
長兵衛乾分三次	岸井 竹緑氏
早見總五郎	片岡好右衛門氏
總五郎乾分猿の傳次	嵐 璃運兒氏
生嶋の安	中村 仙三郎氏
お 房	山下 澄子嬢
お 艶	杉村 千恵子嬢

解説——「左又縦領」について唐澤弘光氏が監督製作した時代劇である。

略筋——愛憎の機から大江戸を捨てた新三は寄る邊なき茶店娘お菊を無事に故里に托し再び漂泊の旅に出た。斯くて幾星霜は夢と流れて草津の里に入った時折悪しく病に伏した。幸ひ總五郎親分に救はれた。新三は總五郎に借つく無頼漢浅間の源太一味を斬り草津を發足した。そして不計も零落し切つた以前の戀人お艶に逢ひ中野甚左衛門に棄てられて不幸に苦しんでゐる一部仔細聞き性來の俠氣に黙し難く親娘と共に江戸へ來り長兵衛に親娘を托し甚左衛門を介したが新三もまた深傷の爲め遂に果ない最後を遂げたのであつた。